

# 平成30年度 おきなわ県民カレッジ 報告書

## 美ら島沖縄学講座



『琉球の系図・家譜-その成立と特徴-』



『紺碧の海に沈んだ異国船の謎を探る』

## 広域学習サービス講座



国頭教育事務所  
『親子で体験して学ぼう 名産歴史ウォークと食』



宮古教育事務所  
『宮古の野鳥 そしてサシバを観察しよう！』

沖縄県教育庁生涯学習振興課

## はじめに

「おきなわ県民カレッジ」は、国、県、市町村、大学等で実施している生涯学習に関する講座等を体系化し、県民の皆様に学習機会を提供するとともに、学んだことを評価・活用するために運営しております。

今年度も、各市町村や高等教育機関、青少年教育施設等の協力を得ながら、主催講座及び連携講座の充実を図ることができました。

特に主催講座においては、美ら島沖縄学講座として文化講座「組踊への誘い」歴史講座「琉球の系図・家譜－その成立と特徴－」等をはじめ、2講座を離島講座とし竹富町波照間島では「沖縄の火の神について」、多良間村では「沖縄の位牌について」を開催いたしました。また、遠隔講義配信システムを活用し5講座をライブ配信し、全11講座を実施することができました。

広域学習サービス講座では、国頭・中頭・那覇・島尻・宮古・八重山の各教育事務所において、地域のニーズに対応した全25の講座を実施、学校開放講座では、南部商業高等学校の「キッズビジネスタウン南商やえせ」を実施し、生涯学習の推進に取り組んでまいりました。

また、国立劇場おきなわ、沖縄県立埋蔵文化財センター、中城村教育委員会生涯学習課等の社会教育施設及び専門職員等と連携した講座を実施したことで、受講者の皆様に好評をいただいております。

今後とも、これまでの成果や課題を踏まえ「おきなわ県民カレッジ」の一層の充実を図り、県民への生涯学習機会の効果的な提供に取り組んでまいりたいと考えております。

おわりに、本事業の実施にあたり、ご協力をいただきました関係機関、市町村教育委員会並びに関係者各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成31年3月

沖縄県教育庁生涯学習振興課

課長 城田 久嗣

# 目 次

1	おきなわ県民カレッジ事業について	1
(1)	主催講座数	
(2)	連携講座数	
(3)	入学者数	
(4)	おきなわ県民カレッジ奨励賞受賞者数一覧	
2	おきなわ県民カレッジ市町村別入学者数	2
3	主催講座の実施報告	
(1)	平成30年度おきなわ県民カレッジ主催講座一覧	3
(2)	美ら島沖縄学講座	
第1回	組踊への誘い	4
第2回	中城御殿跡 蘇る琉球王子の屋敷	5
第3回	琉球の系図・家譜ーその成立と特徴ー	6
第4回	いまさら聞けない相続の話 相続税と贈与税	7
第5回	沖縄各地の神祭りと芸能	8
第6回	沖縄の火の神について	9
	離島講座 in 竹富町波照間島	
第7回	紺碧の海に沈んだ異国船の謎を探る	10
第8回	沖縄の位牌について	11
第9回	エイサーの多様性と現代の変容	12
第10回	沖縄の位牌について	13
	離島講座 in 多良間村	
第11回	琉球のグスクを歩く～in 中城城跡～	14
(3)	広域学習サービス講座	
○	親子で体験して学ぼう！ (国頭教育事務所)	15
○	ウェルカムんちゅになろう！ (中頭教育事務所)	19
	中国語・スペイン語初級講座	
○	沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう！ (那覇教育事務所)	23
○	島尻は一つ「花と食でつながる地域づくり」 (島尻教育事務所)	27
○	歴史発見！みゃーくぬ世 (宮古教育事務所)	32
○	やいま 再発見！ (八重山教育事務所)	36
(4)	学校開放講座	
○	キッズビジネスタウン南商やえせ (南部商業高等学校)	40
4	主催講座受講生アンケートより	
(1)	主催講座受講生の状況	41
(2)	講座を受けた動機	48
(3)	今後学習したいこと	51
5	連携講座数	52
6	資料 (おきなわ県民カレッジ 要綱等)	53

# 1 おきなわ県民カレッジ事業について

2019.2.27現在

## (1) 主催講座数(沖縄県教育委員会が企画・運営する講座)

	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
美ら島沖縄学講座	8	6	5	11	11	10	9	9	11	11	11
受講者数(人)	810	472	250	510	393	329	320	503	581	888	1,084
広域学習サービス講座	12	6	6	6	6	6	6	7	25	25	25
受講者数(人)	587	234	182	224	257	330	540	810	626	585	504
学校開放講座	9	5	4	1	3	1	1	-	-	1	1
受講者数(人)	273	135	65	88	211	232	123	-	-	12	310
講座数の合計	29	17	15	18	20	17	16	16	36	37	37
受講者数の合計(人)	1,670	841	497	822	861	891	983	1,313	1,207	1,485	1,898

## (2) 連携講座数

	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
国・県関係機関	146	176	228	206	186	303	235	243	153	135	170
市町村関係機関	245	211	152	228	250	255	170	224	206	241	281
高等教育機関	127	233	217	253	358	231	204	109	114	122	279
各種教育関係機関	288	659	557	321	465	322	391	675	770	780	885
合計	806	1,279	1,154	1,008	1,259	1,111	1,000	1,251	1,243	1,278	1,615

### (参考)おきなわ県民カレッジの講座種類

主催講座	美ら島沖縄学講座	生涯学習推進センターが企画・運営している講座。沖縄学をテーマに実施する講座。
	広域学習サービス講座	各教育事務所が企画・運営している講座。地域に根ざしたテーマで実施する講座。
	学校開放講座	県立学校等施設を開放して、各学校の施設や人材を生かして実施する講座
連携講座	国や県関係機関、市町村教育委員会、大学、公民館、図書館等が実施する講座で、おきなわ県民カレッジ連携講座として認定された講座。	

## (3) 入学者数

	H17~19	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	合計
男性	575	84	157	108	159	171	131	124	109	112	139	122	1,991
女性	1,352	229	258	209	226	298	209	169	293	223	266	215	3,947
合計	1,927	313	415	317	385	469	340	293	402	335	405	337	5,938

## (4) おきなわ県民カレッジ奨励賞受賞者数一覧

	H18~19	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	合計
筑登之賞(100単位)	12	11	5	10	40	18	24	40	41	16	3	28	248
里之子賞(200単位)	-	9	8	5	2	2	31	34	11	8	3	4	117
親雲上賞(300単位)	-	1	8	4	-	5	8	9	7	3	2	3	50
親方賞(400単位)	-	-	2	6	2	2	7	9	7	5	2	2	44
学長賞(500単位)	-	-	1	2	2	3	3	6	9	6	6	-	38
合計	12	21	24	27	46	30	73	98	75	38	16	37	497

## 2 おきなわ県民カレッジ市町村別入学者数

2019. 2. 27現在

		H19まで累計	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	累計
1	国頭村	34	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	38
2	大宜味村	4	3	-	1	-	-	-	3	-	-	-	4	15
3	東村	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
4	今帰仁村	5	1	1	-	1	-	1	1	-	-	1	-	11
5	本部町	15	3	4	-	8	1	-	7	14	15	3	-	70
6	名護市	52	11	3	1	16	14	2	16	21	4	8	29	177
7	宜野座村	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	5
8	金武町	2	2	-	-	-	3	1	3	2	1	1	-	15
9	伊江村	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	3
10	伊平屋村	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
11	伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	恩納村	2	2	-	-	-	-	1	-	2	2	1	-	10
13	うるま市	94	48	5	2	4	6	3	4	4	14	10	9	203
14	読谷村	9	1	2	3	1	2	2	2	2	3	8	1	36
15	嘉手納町	11	-	-	-	1	-	1	-	1	-	4	-	18
16	沖縄市	63	8	11	14	24	11	6	2	14	6	11	19	189
17	北谷町	20	-	3	4	-	5	7	8	9	7	13	10	86
18	宜野湾市	78	10	43	17	47	17	25	17	19	15	27	22	337
19	北中城村	16	1	4	1	3	1	-	5	4	3	12	2	52
20	中城村	14	-	5	1	5	1	1	-	5	4	6	3	45
21	西原町	51	9	19	16	18	13	10	13	13	9	7	14	192
22	浦添市	115	20	33	20	23	24	26	22	34	23	42	27	409
23	那覇市	837	62	138	111	111	222	151	104	145	113	119	93	2,206
24	久米島町	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	3
25	南大東村	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
26	北大東村	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13
27	豊見城市	60	4	17	34	17	22	30	18	24	27	23	14	290
28	糸満市	56	15	11	8	6	7	27	21	16	8	11	13	199
29	八重瀬町	39	8	34	4	9	8	2	8	7	4	8	9	140
30	南城市	47	4	7	6	10	28	5	10	13	8	11	10	159
31	与那原町	21	5	3	4	24	3	7	2	4	8	11	8	100
32	南風原町	48	18	7	7	11	15	12	15	9	11	15	12	180
33	渡嘉敷村	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	5
34	座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	栗国村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
36	渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	宮古島市	92	32	29	24	17	28	18	11	38	33	13	17	352
38	多良間村	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	32
39	石垣市	89	37	30	37	29	36	-	-	1	14	25	14	312
40	竹富町	18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	22
41	与那国町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1,927	313	415	317	385	469	340	293	402	335	405	337	5,938

### 3 主催講座の実施報告

#### (1) 平成30年度おきなわ県民カレッジ主催講座一覧

##### ① 美ら島沖縄学講座

	講座名	開催場所	開催期間	開催地	受講者数
1	文化講座 「組踊への誘い」	国立劇場おきなわ	5月26日(土)	浦添市	44人
2	考古学講座 「中城御殿跡 蘇る琉球王子の屋敷」	沖縄県立埋蔵文化財センター	7月18日(水)	西原町	50人
3	歴史講座 「琉球の系図・家譜 －その成立と特徴－ (ライブ配信 1)」	生涯学習推進センター 各教育事務所	8月29日(水)	那覇市	205人
4	ステップアップ講座 「いまさら聞けない相続の話 相続税と贈与税」 (ライブ配信 2)」	生涯学習推進センター 各教育事務所 ※多良間村	9月20日(木)	那覇市	172人
5	歴史講座 「沖縄各地の神祭りと芸能」 (ライブ配信 3)」	生涯学習推進センター 各教育事務所 ※多良間村	10月11日(木)	那覇市	115人
6	離島講座 「沖縄の火の神について」 竹富町波照間島	波照間島農村集落センター	10月15日(月)	竹富町	51人
7	考古学講座 「紺碧の海に沈んだ異国船の謎を探る」	沖縄県立埋蔵文化財センター	11月7日(水)	西原町	71人
8	民俗学講座 「沖縄の位牌について」 (ライブ配信 4)」	生涯学習推進センター 各教育事務所 ※多良間村	11月22日(木)	那覇市	160人
9	歴史講座 「エイサーの多様性と現代の変容」 (ライブ配信 5)」	生涯学習推進センター 各教育事務所 ※多良間村	12月13日(木)	那覇市	107人
10	離島講座 「沖縄の位牌について」 多良間村	多良間村コミュニティー施設	12月17日(月)	多良間村	70人
11	文化講座 「琉球のグスクを歩く～in 中城城跡～」	中城城跡	平成31年1月9日(水)	中城村	39人
延べ人数					1,084人

##### ② 広域学習サービス講座

	講座名	開催場所	開催期間	開催地	受講者数
1	親子で体験して学ぼう！ ・「親子でお弁当作り」 ・「ドレスと花束のクッキー作り」 ・「ももころさんの楽しい漫画教室」 ・「名護歴史ウォーク」と「食」	・本部町 ・名護小学校 ・名護青少年の家	①8月6日(土) ②9月24日(月) ③10月6日(土) ④10月21日(土)	本部町 名護市	101人
2	ウエルカムんちゅになろう！ ・中国語初級講座 ・スペイン語初級講座	中頭教育事務所	①10月14日(日) ②10月21日(日) ③11月11日(日) ④11月18日(日)	沖縄市	28人
3	沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう！	・玉陵、識名園 ・エコマール那覇プラザ <sup>®</sup> 棟 ・沖縄県総合運動公園 他	①7月7日(土) ②8月14日(火) ③9月8日(土) ④10月13日(土)	那覇市 沖縄市 国頭村	100人
4	島尻は一つ「花と食でつながる地域づくり」	・南城市中央公民館 ・大里村改善センター ・南部農林高等学校	①11月22日(木) ②11月29日(木) ③12月5日(水) ④12月13日(木) ⑤12月19日(水)	南城市 豊見城市	116人
5	歴史発見！みゃーくぬ世 ・宮古島の墓制について ・宮古のハンセン病の歴史を学ぶ ・宮古の野鳥、そしてサンバを観察しよう！ ・宮古の古文書を読む	・宮古教育事務所 ・現地	①5月26日(土) ②8月11日(土) ③10月20日(土) ④11月10日(土)	宮古島市	71人
6	やいま 再発見！ ・島素材活用(葉膳料理) ・紙漉を体験しよう ・火星大接近をみよう ・西街道にみる史跡探訪	・石垣市健康福祉センター ・石垣青少年の家 ・石垣島天文台	①6月10日(日) ②7月29日(日) ③8月10日(金) ④9月2日(日)	石垣市	88人
延べ人数					504人

##### ③ 学校開放講座

	講座名	開催場所	開催期間	開催地	受講者数
1	キッズビジネスタウン南商やえせ	・南部商業高校	12月15日(土)	八重瀬町	310人

## (2) 美ら島沖縄学講座

### 第1回 美ら島沖縄学講座

## 組踊への誘い

### 教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

#### 1 講座の趣旨

「組踊」は、2010年にユネスコ無形文化遺産に登録された沖縄の伝統芸能である。琉球王国時代、躍奉行であった玉城朝薫が創作したのがはじまりである。講座前半では、組踊の創作・上演目的、組踊の三要素、中心思想、組踊の御三家・作者、現存組踊、組踊の演者など組踊の歴史について解説する。講座後半は、組踊「大川敵討」を鑑賞する。



#### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年5月26日(土)  
12:30~16:50
- ②学習時間 4時間
- ③実施場所 国立劇場おきなわ
- ④受講者数 44人



#### 3 共催 公益財団法人 国立劇場おきなわ

#### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
1	平成30年 5月26日(土) 12:30~16:50	・開講式 ・講義 「組踊への誘い」 ・組踊鑑賞「大川敵討」	當間 一郎 氏 沖縄藝能史研究会 元会長	国立劇場おきなわ (会議室及び大劇場)

#### 5 成果

- ・専門家から、組踊の三要素、中心思想など歴史的な背景や鑑賞のポイントを聞くことで、組踊への理解が深まった。
- ・短い時間ではあったが、わかりやすい解説で組踊の入口を学ぶ機会となった。
- ・講師の長年にわたる調査研究が、地域にあった組踊復活に繋がった事例など、研究過程を聞くことで、沖縄の伝統芸能への関心が高まった。

#### 6 課題

- ・初めて組踊について受講する方もいるので、もう少し資料があったほうがよかった。
- ・机がなかったなので、バインダーの準備が必要であった。



## 第2回 美ら島沖縄学講座

# 中城御殿跡 蘇る琉球王子の屋敷

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

中城御殿とは、琉球国王の跡継ぎが住む屋敷のことで、首里地区には中城御殿跡が2か所ある。1つは首里高校内、もう1つは県立博物館跡地にあり、前者は1600年代の前半頃に創建され、後者は明治8（1875）年に移転したあとの屋敷である。今回は、首里高校内で見つかった移転前の中城御殿跡に注目し、地下に眠っていた琉球王子の屋敷について紹介する。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年7月18日(水)  
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 沖縄県立埋蔵文化財センター
- ④受講者数 50人



### 3 共催 沖縄県立埋蔵文化財セン

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
2	平成30年 7月18日(水) 14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・講義 「中城御殿跡 蘇る琉球王子の屋敷」</li> <li>・閉講式</li> </ul>	亀島 慎吾 氏 沖縄県立 埋蔵文化財センター主任	沖縄県立 埋蔵文化財センター

### 5 成果

- ・考古分野で専門性の高い内容を、写真、古地図などからわかりやすく解説され、発掘調査への関心を高める機会となった。
- ・古都首里で実際に発掘された遺物を間近に見ることで、中城御殿発掘への理解が深まった。
- ・首里高校の校舎改築に伴い、平成25年より中城御殿跡の発掘調査が行われている。調査から多種多様な遺構が発見されるなど、多くのことが解明されてきた。講座をとおり中城御殿跡に関する知識を深めることができた。

### 6 課題

- ・2時間設定で講座を組み立てたが、もう少し時間があつたほうがよかった。



### 第3回 美ら島沖縄学講座

## 琉球の系図・家譜 —その成立と特徴—

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

#### 1 講座の趣旨

琉球の家譜は、17世紀後半以降に士族の家単位で作成された家系の記録である。首里・那覇だけでなく久米島・宮古・八重山の分を合わせるとおよそ3000冊の家譜が作成されたと推測される。表紙には「〇氏(姓)家譜」また先島では「〇氏系図家譜」などの題箋が貼られている。講座では、その成立と特徴について解説する。

#### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年8月29日(水)  
14:00~16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所  
本会場：南部合同庁舎4階  
サテライト会場：各教育事務所
- ④受講者数 205人

#### 3 共催 なし

#### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
3	平成30年 8月29日(水) 14:00~16:00	・開講式 ・講義 「琉球の系図・家譜 —その成立と特徴—」 ・閉講式	田名 真之 氏 沖縄県立 博物館・美術館 館長	・本会場 南部合同庁舎4階 ・サテライト会場 各教育事務所

#### 5 成果

- ・琉球の家譜は、首里王府の命により作成され、継ぎ足しなどを含め系図座に関わる公文書であったこと。作成が許されたのは士族のみで、百姓層は無系とされたこと。門中の成立に大きな影響を与えたことなど、その特徴を知る機会となった。
- ・どのように家譜が作成されたのかや、5年ごとに行われた仕次の厳密な審査、チェックなど家譜編集の内容、また、家譜と身分制について理解することができた。
- ・琉球家譜は、先祖の記録であるが、それが琉球王国の歴史を読み解くことに繋がっている。講座をとおして、歴史史料としての家譜の価値、それを継承していく意義について理解が深まった。

#### 6 課題

- ・関心の高さから、連続講座での開催希望が多くあった。次回計画時に検討が必要。
- ・座席により、聞こえづらいなど機器の不具合があった。



# いまさら聞けない相続の話 相続税と贈与税

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

## 1 講座の趣旨

いまさら聞けない相続の話では、その1で、相続税と贈与税の基本的なしくみ、その2で、たとえ準備していても税務調査では否認されることは何か。その3で、生前にやっておくべきことはどのような事なのか、について分かりやすく解説する。



## 2 講座の概要

①日 時 平成30年9月20日(木)

14:00~16:00

②学習時間 2時間

③実施場所

本会場：南部合同庁舎4階

サテライト会場：各教育事務所

④受講者数 172人



## 3 共催 なし

## 4 講座内容

No	開催日	内 容	講 師	実施場所
4	平成30年 9月20日(木) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・講義 「いまさら聞けない相続の話 相続税と贈与税」</li> <li>・閉講式</li> </ul>	下郡 みず恵 氏 金融広報委員会 アドバイザー 税理士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本会場 南部合同庁舎4階</li> <li>・サテライト会場 各教育事務所</li> </ul>

## 5 成果

- ・実例を使った話のおかげでイメージが付きやすく、残された家族のために、今何が出来るのか考える機会となった。
- ・相続税や贈与税について、なかなか聞けない専門的な内容をわかりやすく解説され、これからの税対策や生前にやっておくべき事などを含め、準備することの大切さを学ぶことができた。
- ・税理士という専門家から、直接話を聞いたことで税に対する関心が高まった。

## 6 課題

- ・専門家に直接疑問点を聞く機会は少ないことから、質疑応答の時間をもう少し確保する必要があった。

## 第5回 美ら島沖縄学講座

# 沖縄各地の神祭り と 芸能

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

沖縄の島々では、はるか昔から多くの祭りが営まれてきた。一年の決まった時期にムラ内の聖域に神々を招来し、ノロやツカサといった神女たちが中心となって祈願を行い、さらに神々と共に歌や踊りによる神遊びを繰り広げるのである。本講座では、その中からいくつかの祭りを紹介し、その中で歌や踊りがどのような形で演じられ、沖縄の伝統芸能の始原の形を表しているかを解説する。



### 2 講座の概要

①日 時 平成30年10月11日(木)

14:00~16:00

②学習時間 2時間

③実施場所

本会場：南部合同庁舎4階  
サテライト会場：各教育事務所  
多良間村

④受講者数 115人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
5	平成30年 10月11日(木) 14:00~16:00	・開講式 ・講義 「沖縄各地の神祭り と 芸能」 ・閉講式	久万田 晋 氏 沖縄県立芸術大学 附属研究所 所長・教授	・本会場 南部合同庁舎4階 ・サテライト会場 各教育事務所 多良間村

### 5 成果

- ・なかなか見ることができない、実際の祭祀映像を見ながらわかりやすく解説され、各地域にある神祭りへの興味、関心が高まった。
- ・地域の伝統、文化を継承することで地域の特色を理解し共感することに繋がる。地域行事など取り組みの重要性、継承の意義を考える機会となった。
- ・村落共同体の祭りである神祭りの意義を詳しく解説され、神祭りの文化的な価値、重要さを学ぶことができた。

### 6 課題

- ・サテライト会場での音声に聞き取りにくい場面があった。



## 第6回 美ら島沖縄学講座

### 「沖縄の火の神について」

### 離島講座in竹富町波照間島

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

#### 1 講座の趣旨

今もなお沖縄県内の各家庭で広く信仰される火の神について、そのなりたちや意味、現在の祭祀のありようなど、各地のさまざまな事例を紹介しながら、基礎からわかりやすく解説する。



#### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年10月15日(月)  
19:00～21:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 波照間島農村集落センター
- ④受講者数 51人



#### 3 共催 竹富町教育委員会

#### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
6	平成30年 10月15日(月) 19:00～21:00	・開講式 ・講義 「沖縄の火の神について」 ・閉講式	稲福 政斉 氏 沖縄国際大学・沖 縄大学 非常勤講師	波照間島農村集落センター

#### 5 成果

- ・火の神について、周りの人に聞いて何となくやってきたが、火の神の拝み方や香炉の掃除など、これまで疑問に感じていたことを色々と知ることができた。
- ・火の神について、どこから伝わってきたのか、どのような意味があるのかなど、わからずにいたが歴史的な背景などを詳しく聞く事ができ理解が深まった。
- ・ピナカン(火の神)はやはり大事にしなければならないと、強く再認識することができた。波照間島の年中行事など継承していくことの大切さを、あらためて学ぶ機会となった。

#### 6 課題

- ・「波照間にいると、学ぶ機会が少ないので、また、出張講座をお願いします。」と、講師を招聘して実施する講座への要望がある。

## 第7回 美ら島沖縄学講座

# 紺碧の海に沈んだ異国船の謎を探る

教育庁生涯学習振興課  
(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

琉球王国時代末期、王国が支配する海域には「異国船」と呼ばれた西欧列強の船が頻繁に往来していた。彼らは何の目的で琉球列島に姿を現し、そして沈んでしまったのか。当講座では、考古学・歴史学・民俗学を駆使して明らかになった異国船の謎について紹介する。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年11月7日(水)  
14:00~16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 沖縄県立埋蔵文化財センター
- ④受講者数 71人



### 3 共催 沖縄県立埋蔵文化財センター

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
7	平成30年 11月7日(水) 14:00~16:00	・開講式 ・講義 「紺碧の海に沈んだ異国船の 謎を探る」 ・閉講式	片桐 千亜紀 氏 沖縄県 埋蔵文化財センター 主任専門員	沖縄県立 埋蔵文化財センター

### 5 成果

- ・研究内容に広がりがあり、ひとつの調査から世界につながっていく過程がとても面白くロマンを感じさせ、水中考古学への関心が高まった。
- ・沈没船の遺物に関する研究者の長年にわたる調査から、歴史史料を紐解き様々な関連が解明された。点と点が繋がり成果としてわかるまでの過程を知る切っ掛けとなった。
- ・企画展の展示解説で、遺物を見ながら専門家から最新の知見を得ることができた。

### 6 課題

- ・講話の途中で質問をする方がいたので、諸注意事項で確認する必要がある。
- ・企画展の解説時間、人数など調整が必要だった。

## 第8回 美ら島沖縄学講座

# 沖縄の位牌について

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

祖先崇拝の念のあつい沖縄の人々にとって、今なお最も身近な信仰の対象のひとつである位牌（トートーメー）について、その歴史や種類、記される文字の意味、札の並べかたなど、知っているようで意外と知られていないさまざまなことがらを、基礎からわかりやすく、楽しく解き明かす。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年11月22日(木)  
14:00～16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所  
本会場：南部合同庁舎4階  
サテライト会場：各教育事務所  
多良間村
- ④受講者数 160人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
8	平成30年 11月22日(木) 14:00～16:00	・開講式 ・講義 「沖縄の位牌について」 ・閉講式	稲福 政斉 氏 沖縄国際大学・沖 縄大学 非常勤講師	・本会場 南部合同庁舎4階 ・サテライト会場 各教育事務所 多良間村

### 5 成果

- ・沖縄の年中行事やしきたりについて、成り立ちや意味など歴史的な流れを交えた解説で、理解が深まった。
- ・身近な信仰の対象のひとつである位牌（トートーメー）について、歴史や種類、記されている文字の意味、札の並べかたなど知っているようでわかっていなかったことを知ることができた。

### 6 課題

- ・人気講座で、連続した講座開催の要望がある。



## 第9回 美ら島沖縄学講座

# エイサーの多様性と現代的変容

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

エイサーは、沖縄本島およびその周辺離島において、旧暦七月の盆の時期に先祖供養として地域の若者達により歌い踊られる芸能である。沖縄本島において、エイサーはいくつかの様式が分布している。また戦後の激動する沖縄社会の中で、芸能として発展を遂げ、今日では沖縄の民族アイデンティティを象徴する芸能となっている。本講座では、近現代エイサーの歴史的展開と現代的状況について解説する。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成30年12月13日(木)  
14:00~16:00
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所  
本会場：南部合同庁舎4階  
サテライト会場：各教育事務所  
多良間村
- ④受講者数 107人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
9	平成30年 12月13日(木) 14:00~16:00	・開講式 ・講義 「エイサーの多様性と現代的変容」 ・閉講式	久万田 晋 氏 沖縄県立芸術大学 附属研究所 所長・教授	・本会場 南部合同庁舎4階 ・サテライト会場 各教育事務所 多良間村

### 5 成果

- ・エイサーの分類と地域的分布の解説で、沖縄本島中部を中心に太鼓エイサー、パーランクーエイサー、北部では男女の手踊りエイサー、女の手踊りエイサー、南部では念仏エイサーと各地域によって違いがあることがわかり、エイサーの多様性に関心が高まった。
- ・全島エイサー祭りの経緯から、エイサー変遷の流れを体系的に知ることができた。また、地域で取り組まれているエイサーの映像を視聴し、更に興味が深まった。
- ・沖縄の民俗芸能「エイサー」について、理解が深まった。

### 6 課題

- ・サテライト会場から、クイチャー（宮古）、アンガマ（八重山）等、先島の芸能も学びたいとの声があった。

「沖縄の位牌について」

離島講座in多良間村

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

1 講座の趣旨

祖先崇拜の念のあつい沖縄の人々にとって、今なお最も身近な信仰の対象のひとつである位牌（トートーメー）について、その歴史や種類、記される文字の意味、札の並べかたなど、知っているようで意外と知られていないさまざまなことから、基礎からわかりやすく、楽しく解き明かす。



2 講座の概要

- ①日 時 平成30年12月17日(月)  
18:30~20:30
- ②学習時間 2時間
- ③実施場所 多良間村コミュニティー施設
- ④受講者数 70人



3 共催 多良間村教育委員会

4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
11	平成30年 12月17日(月) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式</li> <li>・講義 「沖縄の位牌について」</li> <li>・閉講式</li> </ul>	稲福 政斉 氏 沖縄国際大学・沖 縄大学 非常勤講師	多良間村 コミュニティー施設

5 成果

- ・位牌（トートーメー）についての歴史や種類、記されている文字の意味など、疑問に思っていたことが解消された。
- ・平日の夕方開催であったが、なかなか聞けない内容の講座ということで、多くの方が参加した。
- ・昔からの習わしは、守らないといけなと言われてきたが、割と合理化されてきている部分があることを知ることができた。

6 課題

- ・質疑応答の時間を通常より多く設けるなど検討が必要である。

## 第11回 美ら島沖縄学講座

# 琉球のグスクを歩く in 中城城跡 -発掘調査から見てきたこと-

教育庁生涯学習振興課

(生涯学習推進センター)

### 1 講座の趣旨

「琉球王国のグスク及び関連遺産群」(ユネスコの世界文化遺産)に登録されているグスクの一つである中城城跡。中城城は、座喜味城から移ってきた護佐丸によって北の郭、三の郭が増築され、現在の形が完成したといわれている。その高度な築城技術と、見事な曲線が美しい世界文化遺産「中城城跡」を、専門員の解説を聞きながら探訪する。



### 2 講座の概要

- ①日 時 平成31年1月9日(水)  
11:00~12:00
- ②学習時間 1時間
- ③実施場所 中城城跡(中城村)
- ④受講者数 39人



### 3 共催 中城村教育委員会

### 4 講座内容

No	開催日	内容	講師	実施場所
10	平成31年 1月9日(水) 11:00~12:00	・開講式 ・フィールドワーク 「琉球のグスクを歩く in 中城城跡 -発掘調査か ら見てきたこと-」 ・閉講式	渡久地 真 氏 中城村教育委員会生涯 学習課文化係長	中城城跡(中城村)

### 5 成果

- ・発掘中の現場もある中城城跡で、専門員から最新の知見を聞くことが出来る貴重な機会となった。
- ・中城城は、先に中城按司がつくり、その後御佐丸によって、北の郭、三の郭が増築され、現在の形が完成したといわれている。築城から今日までの歴史を知ること、地域の歴史や文化財への興味、関心が高まった。
- ・中城城跡を間近で見ながら、解説を聞くことにより、歴史的建造物を後世へ残すことの意義をより深く考える機会となった。

### 6 課題

- ・フィールドワークでは、時間配分の工夫が必要である。
- ・希望者多いため、グループ分けするなど工夫が必要。